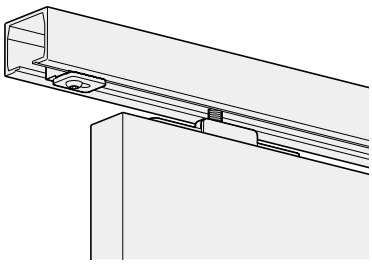
LAMP® 中量間仕切ドア用金具 FD-70M 型 取付説明書 PAT. P



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取付作業前に本書をよくお読みの上、正しく取り付けを行ってください。
誤った取り付けは、思わぬケガをする恐れがありますので、本書の説明、注意事項をお守りください。
本製品は改良等により予告なく、寸法、仕様がかわることがあります。詳細は現品にてご確認ください。

■安全にお使いいただくために

⚠記号は警告･注意を促す内容があることを告げるものです。⃠記号はしてはいけない(禁止行為)であることを告げるものです。❗記号は､必ず従っていただく内容(強制､指示)があることを告げるものです。

⚠警告　この注意事項を守らないと、思わぬけが、周辺の家財に損害を与えることがあります。

⚠ 扉の反りなどにご注意ください。扉が反っていると、本来の動きを発揮できない場合があります。

⚠ 本製品の取付工事は、本書に従って知識・経験のある方が正しく行ってください。取付方法を誤ると、本来の性能が発揮できないばかりではなく、破損等による思わぬけがをする恐れがあります。

⃠ 本来の目的とは異なる使用方法や分解、改造及び本書に示す仕様以外の扉へのご使用はおやめください。仕様外の扉に使用したことによる事故、けが等につきましては、その責任の一切を負いかねますのでご了承ください。

⃠ 扉に無理な力を加えるような開閉はおやめください。故障の原因となります。

❗ 扉質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。強度の無い枠は扉の動きを著しく低下させるばかりでなく、扉の脱落を引き起こすことも考えられ大変危険です。

本書は、標準的な建具を想定したうえで、もっとも安全かつ効率的に取り付けできると思われる方法を記載しました。
したがって、必ずしも取り付けの順序や方法を規制するものではありません。
施工業者様におかれましては、専門家としての確たる工程をお持ちと考えますので、この説明書に記載された方法にとらわれず、施工される方の専門技術とご経験に基づいて製作してください。
その場合でも、必ず事前にこの取付説明書に一度目を通してくださるようお願いします。
この取付説明書で使っている寸法は、加工や組立による誤差や材料そのものの変形等を考慮しておりません。作業においては、このことをご考慮のうえ、切断等の加工を行ってください。

■仕　様

扉厚	扉高さ	扉質量（1枚当り）	扉高さ調節範囲
標準仕様（1本引きレール使用時）… 30mm以上 標準仕様（2本引きレール使用時）… 30～40mm 幕板仕様 …… 30～40mm ※アウトセット引戸部品 FD-70C-OS使用時 …… 30～42mm	2400mm 以下	70kg 以下	上下：±4mm

※詳細はアウトセット引戸部品FD-70C-OS取付説明書をご覧ください。

■各部の名称および扉1枚当りの部品点数

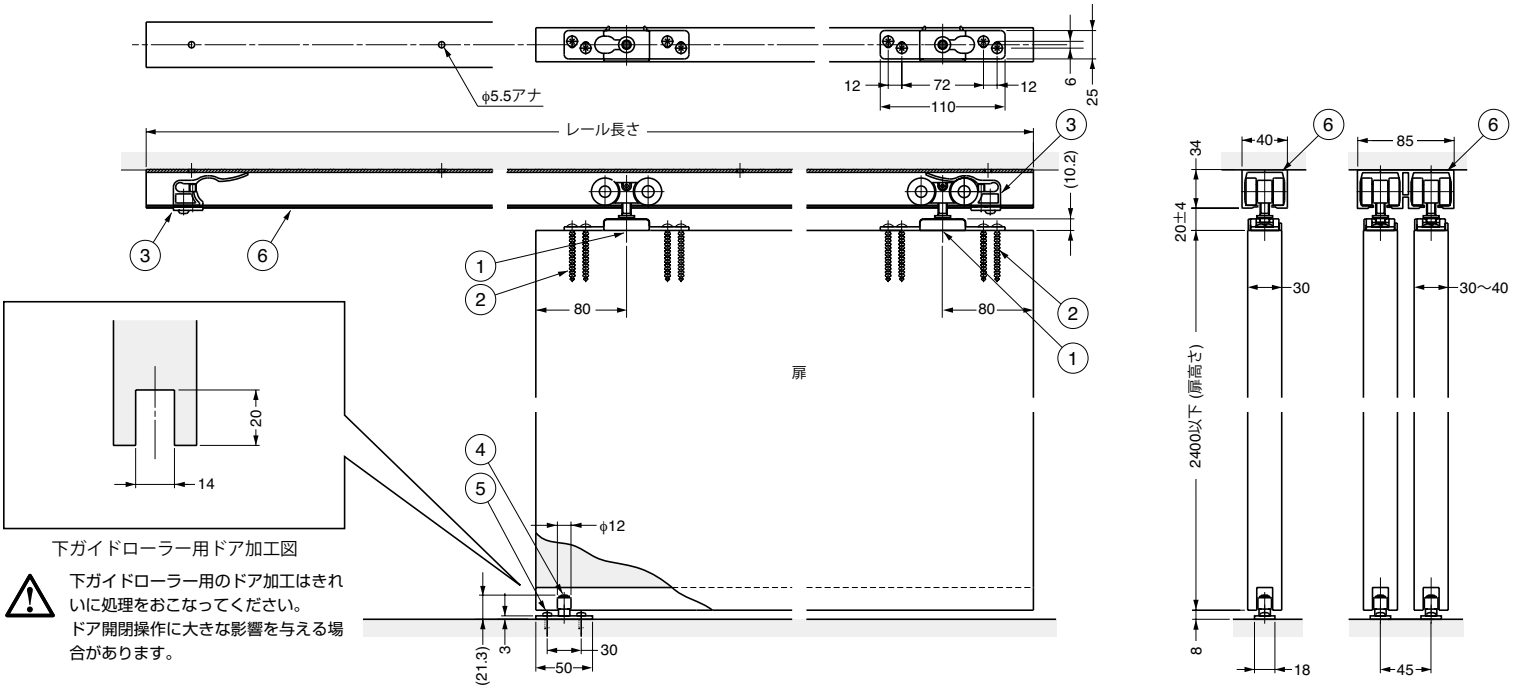
部品名称	①ハンギングローラー	②十字穴付トラスタッピンねじ 呼び4×45（①に付属）	③ストッパー (六角棒スパナ 付属)	④下ガイドローラー	⑤十字穴付なべタッピンねじ 呼び4.5×16(④に付属)
部品点数	2ヶ	8ヶ	2ヶ	1ヶ	2ヶ
	FD-70M-WR		FD-70-ST	RR12	

部品名称	⑥レール		⑦幕板仕様レール	⑧幕板
部品点数	1ヶ	1ヶ	1ヶ（2本引きの場合は2ヶ）	2ヶ（2本引きの場合は3ヶ）
	FD-70-2000SIL（2m） または FD-70-3600SIL（3.6m）	FD-70-W2000SIL（2m） または FD-70-W3600SIL（3.6m）	FD-70C-2000SIL（2m） または FD-70C-3600SIL（3.6m）	FD-70C-CP-2000SIL（2m） または FD-70C-CP-3600SIL（3.6m）

・レール取付ねじはお客様にてご用意ください。
・スパナ 呼び10（2面幅10mm、厚さ6mm）はお客様にてご用意ください。

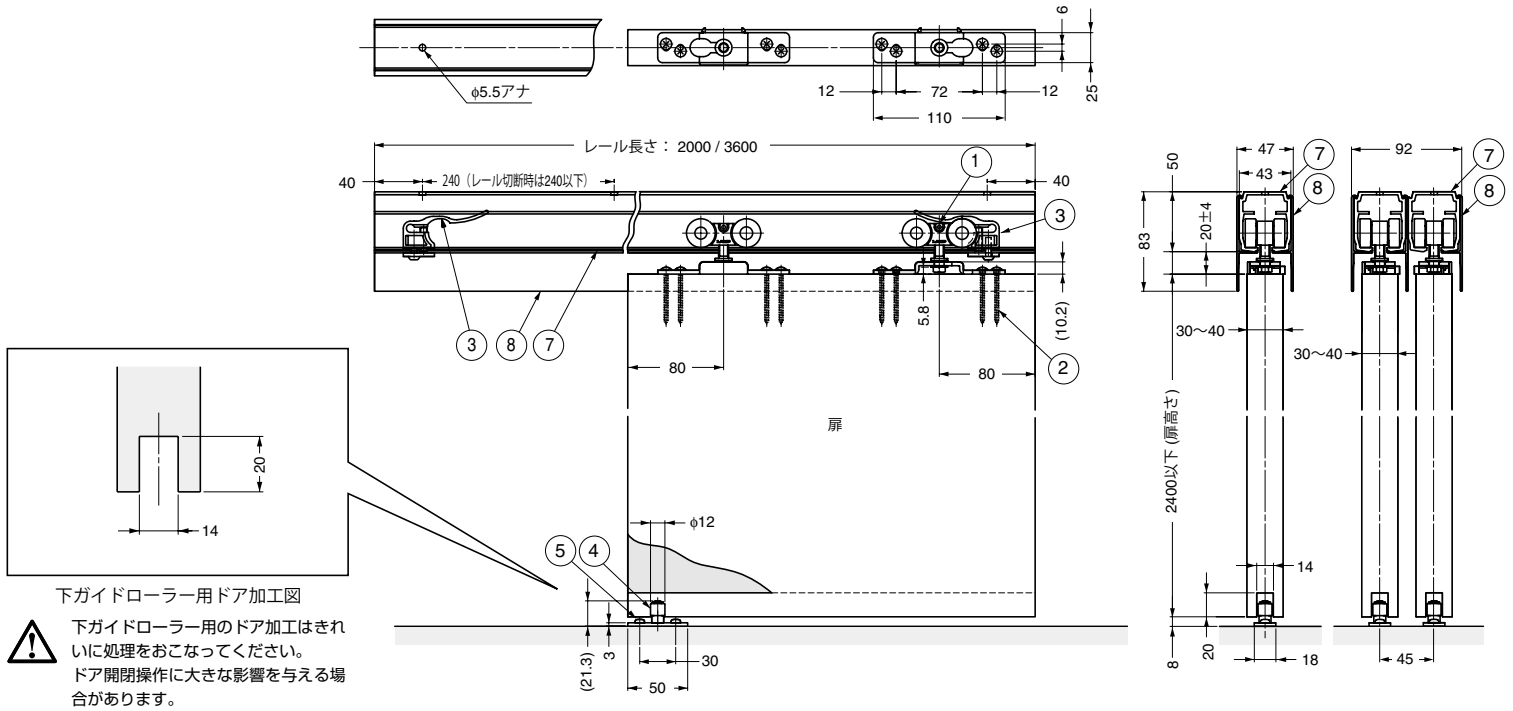
SUGATSUNE

■仕 様 図；標準仕様（幕板無し）



下ガイドローラー用のドア加工はきれいに処理をおこなってください。
ドア開閉操作に大きな影響を与える場合があります。

■仕 様 図；幕板仕様

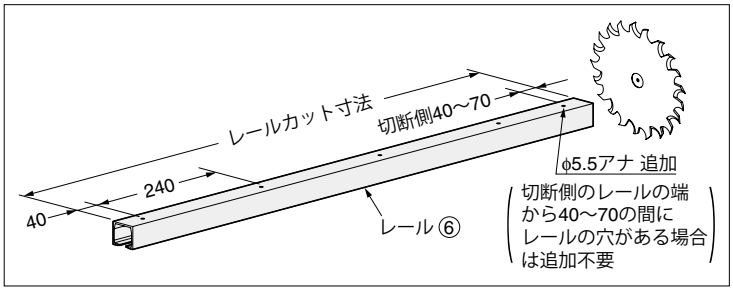


下ガイドローラー用のドア加工はきれいに処理をおこなってください。
ドア開閉操作に大きな影響を与える場合があります。

SUGATSUNE

手順 1　レールの切断、穴加工

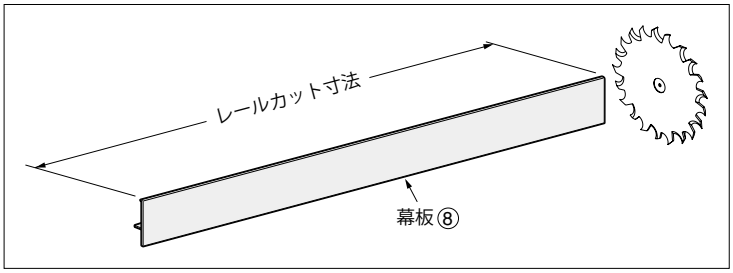
・レール⑥は必要な長さに切断し、切断面から40mmの位置にレール固定穴（φ5.5アナ）を加工してください。
・レール内部に切り粉などが残らないようきれいに除去してください。



レール内に切り粉などの異物を残したり、ローラー等に異物が付着していると動作時にゴロゴロ音がする原因となりますので、切り粉などの異物を取り除いてください。

手順 2　幕板の切断 [幕板仕様のみ]

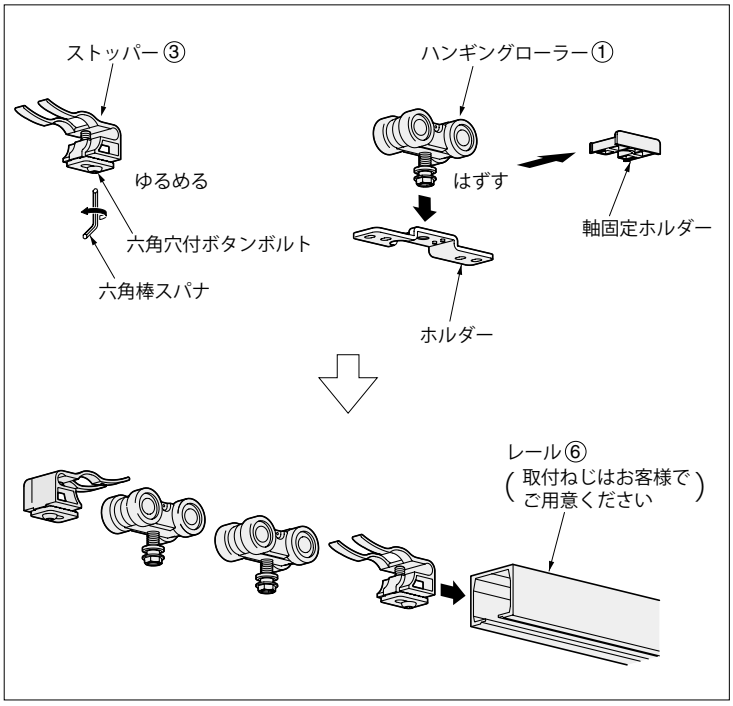
・レールカット寸法と同じ長さで幕板⑧を切断してください。



幕板の切断の際は、幕板が変形しないようにご注意ください。幕板が変形すると、レールに組付けられなくなる場合があります。

手順 3　レールへの部品組み込み、レール取り付け

・付属の六角棒スパナを使用して、ストッパー③の六角穴付ボタンボルトをレール⑥に挿入し易いように少し緩めてください。
・ハンギングローラー①のホルダーと軸固定ホルダーをはずし、ハンギングローラー①とストッパー③をレール⑥内に入れてください。
・レール⑥を上枠に取り付けてください。

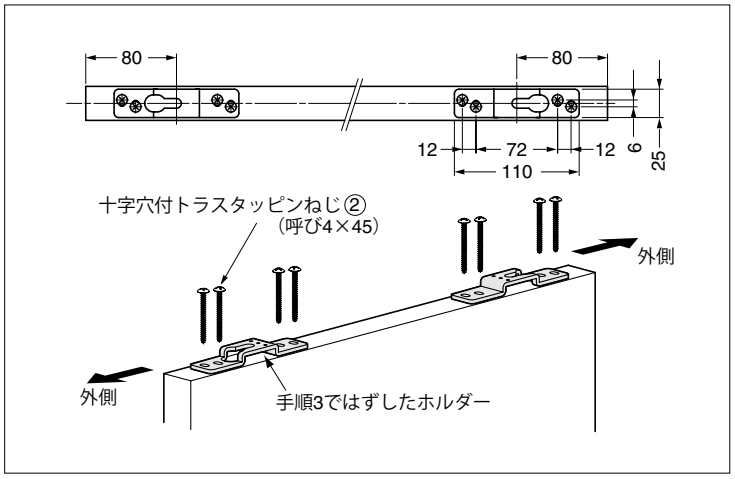


レール取付ねじは付属していません。お客様の方でご用意ください。

⚠ ストッパーの向きに注意

手順 4　レールへの部品組み込み、レール取り付け

・下図を参考にして、ハンギングローラー①のホルダーを、十字穴付トラスタッピンねじ②で扉へ確実に取り付けてください。

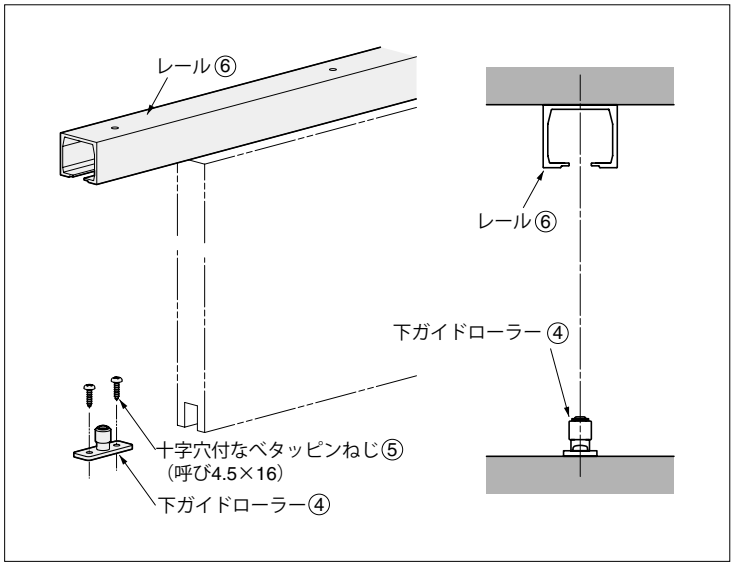


⚠ ホルダーの向きに注意

ホルダーの開口部がそれぞれ、外側を向くように取り付けてください。

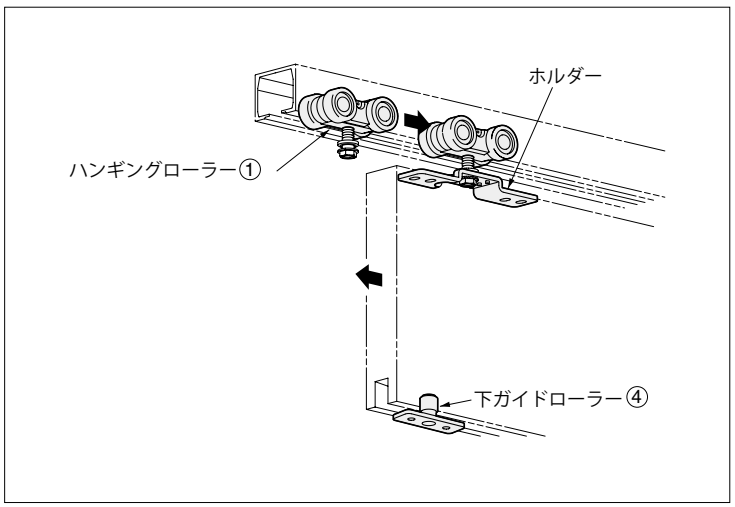
手順 5　下ガイドローラー取り付け

・下ガイドローラー④を扉の走路上で、扉の開閉が行われても扉からはずれない位置に取り付けてください。



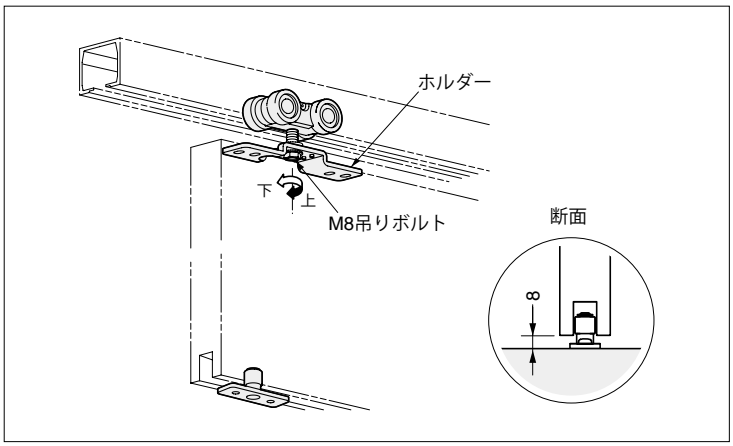
手順 6　扉の吊り込み

・扉下部のガイドローラー加工溝に、下ガイドローラー④をセットし、ハンギングローラー①を、扉に付いたホルダーに差し込んでください。



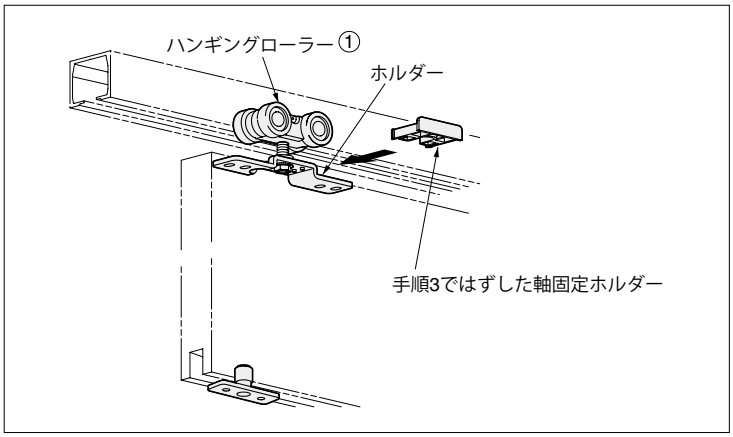
手順 7　扉の高さ調整

・ホルダー中央開口部のM8吊りボルトを、六角棒スパナ呼10で回転させ、扉の高さを調整してください。（±4mmまで）その際、扉と床の隙間を8mmになるようにしてください。



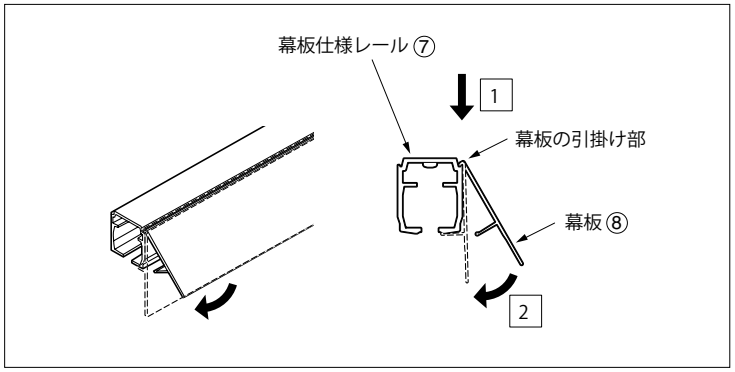
手順 8　軸固定ホルダーのセット

・軸固定ホルダーをホルダー中央開口部に最後まで確実に差し込み、扉とハンキングローラー①を固定してください。



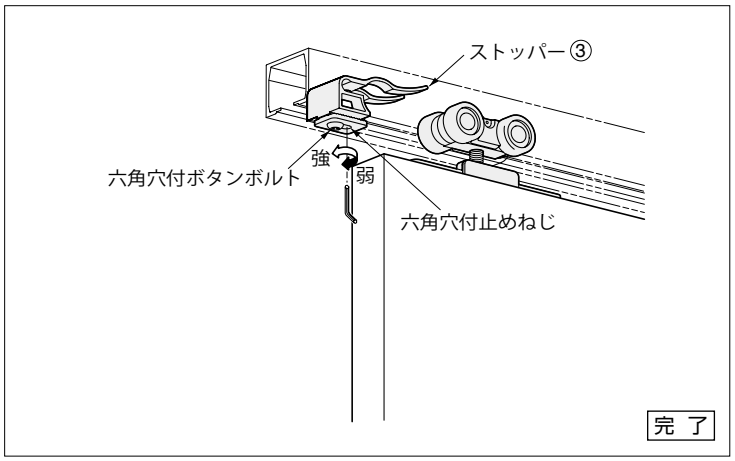
手順 9　幕板の取り付け [幕板仕様のみ]

・幕板仕様レール⑦に幕板⑧をはめ込みます。幕板の引掛け部をレール上端に掛け(1)、幕板下端を押し込んではめ込みます(2)。その際、レールと幕板の端面を揃えて組付けてください。



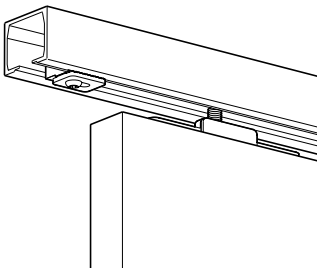
手順 10　ストッパー固定・調節

・ストッパー③の六角穴付ボタンボルトを締め付けて、適切な位置に固定してください。
・六角穴付止めねじを調節し、適切な扉キャッチ力に調節してください。
・扉の開閉操作、走行を確認してください。

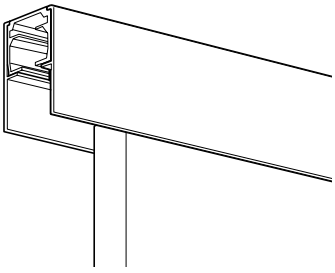


完成図 FD-70M型

■ 標準仕様（幕板無し）

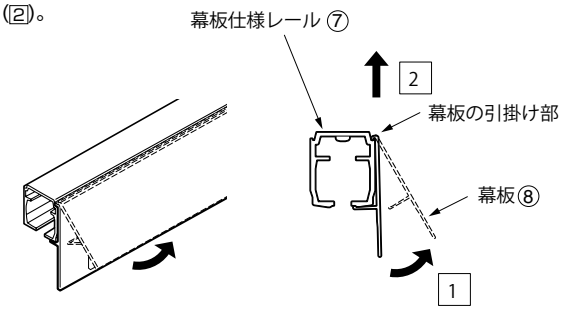


■ 幕板仕様



■幕板のはずし方

・幕板下端を、レールから引きはがす方向に押します(1)。
幕板下端が外れたら、幕板上端の引掛け部をレール上端から持ち上げて外します。(2)。



本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお願いいたします。

アーキテクトサポート室　電話番号 **03（3864）1122**
受付時間　**月～金　9:00～17:30**（年末・年始・夏季休暇等は除く）
FAX 03（3863）6875
E-mail：support@sugatsune.co.jp
東京都千代田区岩本町2-5-10　〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001（JSAQ384）・ISO14001（JSAE597）審査登録
※ISO9001：国内各拠点　※ISO14001：千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
http://www.sugatsune.co.jp/
2013.04　PRINTED IN JAPAN　0142-3